

# 熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年12月16日掲載

2年1組 寺岡 恵

## 「人の命守る意識も高めたい」

「グラグラグラ。家が壊れる音がした。」そう語るのは東海大学の旧阿蘇キャンパスの現地ガイドさん。僕はその話に夢中になった。

修学旅行で南阿蘇村の熊本地震被災地を訪れ、まず初めに断層を見た。テレビでしか見たことがなかったのでとても驚いた。そして、その断層は校舎にぶつかり、鉄でできた大きな柱がメチャクチャになっていた。その柱を見て僕は、地震の恐ろしさを間近で感じた。

次にガイドさんの実体験を聞いた。話の中に「命より大切なものはない」「たとえ、防災グッズがあっても命がなければ意味がない」という言葉があり、僕はその言葉に納得することができた。

僕は、これからは家で避難するときの場所の確認や携帯電話のこまめな充電。そして、外出したときの避難経路や避難場所の確認をし、命を守ることを一番に考えて行動したいと思った。

今回のガイドさんの話にあったように、命だけは大切にし、命を守られる立場ではなく、人の命を守る立場になれるようにしたい。日頃から、防災の意識を高めて過ごすことが熊本地震での教訓だ。